



## 第1部 被爆者講演会



NPO法人SADAKO LEGACY理事長  
一般社団法人 禎子の折り鶴 代表理事

## 佐々木 雅弘

広島平和記念公園内の原爆の子の像のモデルとなった佐々木禎子の2歳年上の実兄。禎子、母、祖母と共に爆心地から1.6kmの自宅で被爆。2001年頃から、日本国内外での様々な講演活動を通じて、禎子が残してくれた「想いやりの心」と平和の大切さを伝える活動を続けている。



## 第2部 被爆ピアノコンサート



## 矢川ピアノ工房 矢川 光則

1972年 河合楽器ピアノ調律技術者養成所卒業、河合楽器製作所入社  
1993年 ヤガワ楽器調律センター開業  
2001年 平和記念公園にて、被爆ピアノコンサート開始、以後全国で「被爆（ひろしま原爆）ピアノ、平和コンサート」を行う。  
◎広島市民表彰（市民賞）受賞 ◎国際文化交流奨励賞受賞 ◎県民文化奨励賞受賞  
◎谷本清平和賞受賞 ◎著書「海をわたる被爆ピアノ」（講談社）刊行



## ピアニスト 高橋 正実

武蔵野音楽大学及び山口大学大学院教育学研究科修了。  
1997年ルーマニア・エミネスク劇場にてルーマニア国立ボトシャニ交響楽団と共演してデビュー。東京オペラシティ他国内外で多くの演奏経験を持つ。第2回アジア国際音楽コンクールピアノ部門第2位。「高橋は内面の深い音楽家である（中略）自分が聴き取ったものを美しい響きの中に再現することができる（V.メドゥシェフスキー）」「音楽家としての成熟度、音色の多彩さ、曲の様式を理解する高さに私は驚いた。彼が演奏したシューベルトのソナタは世界のレヴェルと比べて遜色なかった（ムンドヤンツ）」  
演奏活動の他後進の指導やコンクールの審査など携わっている。山口県学生音楽コンクール、tys山口県学生ピアノコンクール運営委員・審査員。



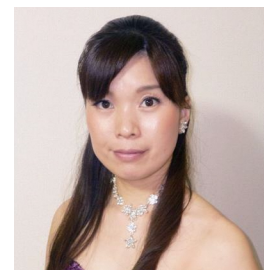
## 歌手 品川 奏美

エリザベト音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。在学中、ザビエル賞（特待生）を受賞し、4年間特待生として在学。総代（成績最優秀）で卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修士課程を修了。G7サミットウェルカムコンサートに出演し、オペラ「椿姫」より『乾杯の歌』ヴィオレッタのソロを担当。その他、広島シティーオペラ、オペラコンサート、親子コンサートなど数々の演奏会に出演。2024年、妹と姉妹ユニット「Fluce」を結成、リサイタルを開催。2025年5月18日に自身初のソロリサイタルを成功させる。2026年3月14日には、ファーストシングル「形のないプレゼント」をリリース。現在は山口県、広島県、岡山県を中心に活動、オペラ、ミュージカル、ポップスまでジャンルを超えた歌唱で活動の幅を広げている。声楽を赤川優子、小林良子各氏に師事。



## ピアニスト 寺本 由香

エリザベト音楽大学器楽学科ピアノコースで学ぶ。  
第3、5、9回エリザベト音楽大学同窓会岩国支部主催の演奏会や、広島で開催のアルカンシエルピアノコンサート出演。また、2020年岩国市教育委員会錦支所主催デュオコンサートや、2021年～2026年美川カレッジ主催コンサートに出演。  
現在、JOY piano school 錦見、広瀬教室主宰。日米の生徒のピアノ指導に邁進。また、自身も對馬寛子氏のもとで研鑽を積んでいる。



## 被爆ピアノとは

原爆投下時1945年8月6日広島、8月9日長崎で爆心地より約3km以内で原爆の爆風、熱線、放射能等の被害を受けたピアノの事を言います。